

一 般 質 問

平成27年12月2日(水)

1 番 加 納 洋 明 議 員

1. コンビニ交付について

- ①自動交付機の今後の考え方。
- ②マイナンバー制度の運用に伴い個人番号カードの活用でコンビニ交付を実施すべき。

2. 市職員による災害発生後における参集訓練の実施について

- ①全職員の徒歩による参集訓練の実施
- ②各業務への職員配備の目安と時間
- ③職員の45%が市外からの通勤者に対して市民の不安をどう払拭するのか。

3. 乳幼児医療費助成の拡大について

- ①国が国民健康保険の負担金の減額する措置が見直された場合の市の考え。
- ②新年度に向けた乳幼児医療費助成の検討についての考え。

4. あかしや通り歩行者専用道路沿いのアカシアの伐採について

- ①市として今後、アカシアの処理に対する認識
- ②計画的に処理をすべき。
- ③今日まで処理をしてきた理由

5. ICT教育の更なる推進を

- ①今度のICT教育の考え方について。
- ②既存のコンピューター教室の考え。
- ③デジタル教科書の活用について。

4 番 蜂 谷 三 雄 議 員

1. 来年度予算編成について

国の来年度地方財政確保の見通し・「地方創生」関連財源を含めた予算編成方針について
市財政各指標の見通しや度重なる増税と市民負担増のなかで市民生活応援や中小・小規模事業振興事業などに積極的な財政出動を
また、合併10年経過初年度の浜益・厚田地域振興について

2. 子ども、子育てについて

地域において子どもを生み育てる良質な環境の整備は国の施策によるところ大であるが、自治体としての積極的な展開も試され期待されている

現状からもこれまでの延長線ではない発想と施策が急がれている

①子どもの貧困問題

政府の調査でも子どもの6人に1人は貧困家庭となっている。主に母子家庭一人親家庭の比率が圧倒的に高い

市域における実態とそれにマッチした対策や非婚一人親寡婦控除のみなし適用について

②子育て環境

保育需要と保育所入所の弾力運用

保育料と多子軽減の抜本的な改善

小規模認可保育所から認可保育所への展望

3. 風力発電計画について

石狩湾新港地区に建設予定の風力発電に対する北海道の見直し意見書への対応

4. 介護制度の改定について

要支援認定者の「総合事業」移行後の受け皿

マンパワーの確保など事業形態と見通し

特養入所要件の弾力運用など改定全体の評価

介護報酬削減による市内の影響の実態と対策

5. JVと入札

給食センター建設JV業者と入札のあり方

6. 吹雪防災について

国道231号の猛吹雪で自動車の立ち往生時の安全対策

8 番 堀 弘 子 議 員

1. 介護保険について

①4月からの制度改正において他市の厳しい状況では施設経営そのものが困難になっているが、市内の介護施設の現状把握と課題を伺う。

②課題解決に向けた取り組みとして相談、支援体制を整備すべき。

③サービス利用者の影響及び対策の充実

2. 集団フッ化物洗口及びフッ素の危険性について

- ①大分県津久見市でフッ化物洗口液に異常があり、フッ素洗口が一時中止された。原因は保管方法にあったとされているが、市内で実施している幼稚園、保育園の保管状況は把握しているか。保管状況も含め巡回して事故防止に努めるべき。
- ②現在、集団フッ化物洗口を実施している園において子どもの健康被害と思われる状況はないか。健康被害はいつ表れるのか個人差もあるが、健康被害が起こった場合、因果関係が必要となる。集団フッ素洗口をしていた子どものリストは大切に保管すべき。
- ③在日米国商工会議所が「口腔ケアによる虫歯および歯周病予防の推進」の意見書を日本政府に提出した。一方でアメリカが、水道水フッ素濃度を0.7～1.2mg F/Lから0.7mg F/Lにすることを推奨したが、この矛盾をどのように考えるか。
- ④問題のある集団フッ化物洗口は中止すべきと考えるがいかがか。

3. 日本脳炎ワクチン接種について

- ①日本脳炎ワクチンが定期接種となるが、他のワクチンとの同時接種は行わない配慮が必要。

4. 食育について

- ①子どもの貧困、孤食と言われる今こそ食育基本計画を策定すべき。

5. 教育について

- ①厚田区、本町・八幡地区の学校整備について。

イ、11月24日親船会館、25日には望来コミュニティセンターで、学校整備についての説明会が開催されました。説明会開催前の13日に教育委員会会議が非公開で開催され議決されて、今回の案が、新聞報道されました。地域の検討会メンバーに今回の案が示されたのは、説明会の日であり、検討会メンバーからも意見が出ました。検討会として議論を重ねてきたことが会に報告もないままに公表されることは不本意であると考えます。今回のことは既に起こってしまったことですが、今回に限らず往々にして起こることと考えられることから、公表前に検討会のメンバーにも知らせる手だてを考えるべきです。

ロ、新設校の特徴は今後具体的に検討されると理解しているが、期待をいだかせることが羅列されているのではないかと思う。具体的に放課後児童の受け入れや学校給食センターについての検討を行うべき。

ハ、今後、地域説明会を開催することとなるが、意見を言いやすい環境に配慮すべき。

- ②本年度より、新たな教育委員会制度のスタートに伴い、市長と教育委員による「総合教育会議」が開催されているが、どの様な効果が得られたか。また、課題と感ずることはないか。

1. 石狩警察の誘致について

- ①警察における分署計画について市に何らかの説明があったのか伺います。
- ②石狩署設置に希望が生じたを受け止めるが、何らかのアクションを起こす必要があるのではないかとと思うが、いかがか。
- ③浜益区における交番の体制について。
派出所は一人体制だが二人体制にする協議をする考えはないか。
- ④新港地域の工業団地内に交番設置が必要と考えるが、いかがですか。

2. 石狩市の将来人口について

- ①人口問題研究所の推計では本市の人口将来目標との約一万人の差についてお伺いします。独自の人口増加対策があれば説明してほしい。

3. 樽川地区の人口増にともない集合所施設整備について

- ①樽川地区は本市で一番若者と子ども達が多く、人口急増しています。今年中には6千人になるうとする勢いです。樽川公民館および集会所の建替が急務と思います。花川南コミュニティセンターの位置を考えると、樽川地区にコミュニティセンターがほしいところです。お考えをお伺いします。

4. 軌道系の誘致について

- ①以前に地下鉄・モノレール・鉄道との案が有りました。石狩市に住んでみたい街としてもっと石狩を元気にすることを考えますと軌道系の誘致が必要ではと考えます。どのように思いますか。

1. 健康寿命について

- ①高齢化が進む石狩市にとって、健康寿命の延伸は重要課題の一つと考える。これまでに市民の健康寿命の延伸に向けて行われてきた、石狩市の取り組みを伺う。
- ②厚生労働省が平成23年2月に国民の生活習慣の改善、そして健康寿命を延ばすことを目的として開始した、スマート・ライフ・プロジェクトを石狩市も推進していく事が必要と思えるが考えを伺う。

2. 市営墓地について

- ①25ある市営墓地の総区画数に対しての使用状況および今後の整備について伺う。
- ②継承者がいなくなった場合、無縁墓地の対応はどのようにしているか伺う。
- ③全国的に「墓じまい」が増加しているが、市営墓地の状況はどうなっているのか伺う。

- ④少子高齢化、核家族化等の進行により、墓の承継について不安を抱える市民の声を聞く。新たな埋葬方法、合葬式墓地の考え方を伺う。

3. 市道花川通りの整備について

- ①現在の花川通りは、平成14年に全面開通をして10年以上が経過している。この間、道路の経年劣化や道路下のインフラ整備により、路面状態のコンディションが良くないと思われる。今後、延伸を進めるにあたり、既存道路の整備はどの様に考えているのか伺う。
- ②災害対策として、花川通りの無電柱化の考えについて伺う。

4. 平成27年度の石狩市が関係したイベントについて

- ①27年度、本市が関わり実施した集客力のある代表的は大型イベント鮭祭り・石狩まるごとフェスタに対する評価について伺い、さらに来年度に向け課題と改善策について伺う。

5. アライグマによる被害状況について

- ①石狩市内のアライグマの生息状況について伺う。
- ②これまでのアライグマによる、被害状況について人畜被害、農作被害などの被害状況を伺う。

6. プレミアム付き商品券について

- ①使用期限が1ヶ月を切りましたが、これまでの使用状況を伺う。
- ②未使用分については原則、返金不能となっているが、何らかの理由で使用できなかった場合の返金措置は考えられないのか伺う。
- ③商品券販売後、旧石狩・厚田・浜益、各地域の効果をどの様にとらえているのか伺う。